

一、先づ本号発行のおくれたことをお詫び申し上げます。会費、原稿印刷所の都合其他の支障で、心ならずも今日に至りましたが、幸い明るいい見通しがつきました。今後は原稿さえ集れば定期発行が出来ます。印刷の都合もありますから、次号の原稿は早目に送つて下さい。

二、本会委員長長渡辺澄夫氏は昨年十一月文学博士の位記を受けました。本会はずり取えず祝賀会を市内東洋軒で催し、清原貞雄氏以下参会者多数、盛会裡に氏の前途を祝福した。

三、本会では去る九月廿四日、市外東植田の古刹飛来小靈山寺で左記の調査と講演会を催した。

A、講演会

- 1、大友時代（南北朝）の靈山寺……………分大教授 渡辺澄夫
- 2、地理的に見た靈山寺とその景観……………全 兼子俊一
- 3、靈山寺の仏像に就て……………医学博士 辛島詢一
- 4、徳川時代の靈山寺……………立川輝信

B、調査研究

本寺所蔵の古文書、古地図、仏像、古塔其他の調査研究を行い学界未見の古文書を発見した。

四、別項所載の通り「大分の歴史と文化」もいよいよ来る十一月十五日発行となります。まだ申込みない方は至急本会又は常任委員へ申込み下さい。（立川）

発行はおくれたが、幸、予期以上の原稿が集り本号の発刊を見た。感謝に堪えません。ただ地方会員の投稿が少ないのは遺憾です。大躍を企図する本地方史。パライチイに富む地方会員の投稿、編集上の希望、会員の倍増、会費の完納を念願し、あわせて統書の秋、会員各位御健勝と斯道への御精進を祈つて筆をおく。（立川）

昭和三十六年十月二十日 印刷

昭和三十六年十月二十五日 発行 会費 年三〇〇円

本号頒価 二五〇円

編輯兼 代表者 渡 辺 澄 夫
 発行人

印刷人 高 井 久 雄

大分市上野 電話三七七五番

印刷所 三恵印刷株式会社

大分市駄原 大分大学
 学芸学部国史研究室内

発行所 大分県地方史研究会

(振替下関五二九四番)